

個別施設計画一覧表(橋梁)

【更新年月日：令和3年12月7日】

No.	個別施設整理番号	林道台帳索引番号	路線名	林道種類及び区分	橋梁名	所在地	起点からの距離	建年	供用年数	種別	型式	道路橋示方書	橋格(設計荷重)	橋下条件	橋長(m)	幅員(m)	上部工型式	橋台工型式	橋脚工型式	海岸からの距離(Km)	施設の現況			計画内容				優先度	措置記録							
																					点年実施年月日	判定区分	所見等	計画期間	内容		実施予定時期		対策費用(概算:百万円)	実施年月日	内容		対策費用(百万円)	再判定実施年月日	再判定区分	備考
																									分類	概要(数量)					分類	概要(数量)				
1	A-6-1	1	天気山線	自動車道3級	無名橋1	伊東市	0.17	不明	-	RC橋	RC床版橋	不明	不明	河川	5.2	4.9	RC床版橋	重力式	-	1.7	R3.9.15	I	-	R4~R8	点検	-	R8	0.5	低							
2	A-6-1	1	天気山線	自動車道3級	無名橋2	伊東市	0.58	不明	-	RC橋	RC床版橋	不明	不明	河川	5.4	4.8	RC床版橋	重力式	-	2.1	R3.9.15	I	-	R4~R8	点検	-	R8	0.5	低							
3	A-6-5	3	大平線	自動車道2級	無名橋	伊東市	0.82	不明	-	RC橋	RC床版橋	不明	不明	寺田川	6.2	4.3	RC床版橋	重力式	-	2.8	R3.9.15	III	主桁に鉄筋露出	R4~R8	補修	断面修復工	R5	1.1	高							
4	A-6-6	4	奥野線	自動車道2級	白川橋	伊東市	3.72	1984	37	鋼橋	鋼桁橋	S55	2等橋(TL-14)	伊東大川	20.6	6.2	簡易組立橋	重力式	-	7.4	R3.9.14	II	主桁に腐食	R4~R13	補修	塗装塗替え工	R7	2.2	中							
5	A-6-6	4	奥野線	自動車道2級	ユ-カリ橋	伊東市	4.46	1985	36	鋼橋	鋼桁橋	S55	2等橋(TL-14)	伊東大川	16.3	5.7	非合成単純曲線橋	逆T式	-	8.1	R3.9.14	II	主桁に腐食	R4~R13	補修	塗装塗替え工	R7	2.0	中							
6	A-6-6	4	奥野線	自動車道2級	深山橋	伊東市	2.99	1961	60	RC橋	RCT桁橋	不明	不明	伊東大川	8.4	4.4	RCT桁橋	重力式	-	8.2	R3.9.15	II	主桁に鉄筋露出	R4~R8	補修	断面修復工	R6	0.7	中							

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	A-6-1	林道台帳索引番号番号	1	施設管理者	伊東市
路線名	天気山線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	無名橋1
施設の所在地	伊東市	起点からの距離	0.2km	建設年度	不明
供用年数	-	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.20m		幅員(車道幅員)	4.90m (4.40m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無	
		橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	1.7km		
施設の目的利用実態等	林道天気山線は、宅地化が進み専ら生活道として地域住民が利用がしている。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和3年9月15日				
	調査結果	橋台に漏水・遊離剥離石灰が確認された。				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
	劣化原因	伸縮装置からの漏水が考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和8年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和8年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用(概算)	定期点検 約500千円				
管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。					

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	A-6-1	林道台帳索引番号番号	1	施設管理者	伊東市
路線名	天気山線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	無名橋2
施設の所在地	伊東市	起点からの距離	0.6km	建設年度	不明
供用年数	-	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.40m		幅員(車道幅員)	4.80m(4.20m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	2.1km		
施設の目的利用実態等	林道天気山線は、宅地化が進み専ら生活道として地域住民が利用がしている。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和3年9月15日				
	調査結果	主桁に漏水・遊離石化が確認された。				
	健全性の診断結果	I (健全)	道路橋の機能に支障が生じていない状態。			
	劣化原因	排水管からの漏水が考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和8年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和8年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用(概算)	定期点検 約500千円				
管理方法	長寿化対策として5年に1回の定期点検を行う。					

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)			0.5					0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	A-6-5	林道台帳索引番号番号	3	施設管理者	伊東市
路線名	大平線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	伊東市	起点からの距離	0.8km	建設年度	不明
供用年数	-	種別	RC橋	型式	RC床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	寺田川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.20m		幅員(車道幅員)	4.30m (3.50m)
	施設の構造等	上部工型式	RC床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	-	塗装使用の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	-		海岸からの距離	2.8km		
施設の目的 利用実態等	林道大平線の利用区域は、健康回復公園大平の森に続くウォーキングコースとして利用されている。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和3年9月15日				
	調査結果	主桁に鉄筋露出が確認された。放置すると腐食が進展することが見込まれる。				
	健全性の 診断結果	Ⅲ (早期措置段階)	道路橋の機能に支障が生じる可能性あり、早期に措置を講ずべき状態。			
	劣化原因	中性化が考えられる。				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和4年度～令和8年度				
	内容	断面修復工による補修を行う。				
	実施予定時期	令和5年度に実施する。				
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 早期措置段階のため、優先度は「高」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約600千円				
管理 方法	長寿化対策として補修工を早期に行うとともに、5年に1回の定期点検を行う。					

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)			0.5		0.6			0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検		補修工			定期点検		

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	A-6-6	林道台帳索引番号番号	4	施設管理者	伊東市
路線名	奥野線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	白川橋
施設の所在地	伊東市	起点からの距離	3.7km	建設年度	1984年
供用年数	37	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S55	橋格(設計荷重)	2等橋(TL-14)	橋下条件	伊東大川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	20.60m		幅員(車道幅員)	6.20m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	簡易組立橋			
			鋼製(使用鋼材)	—	塗装使用の有無	無
		支承形式	—	塗装使用の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	—		海岸からの距離	7.4km		
施設の目的利用実態等	林道奥野線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林施業者により頻繁に利用されている。また、当該林道の一部は奥野ダムの管理道の他、ウォーキング施設としての人気も高く、地域住民の利用もみられる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	II				
	調査結果	主桁に腐食が確認された。放置すると腐食が進展することが見込まれる。				
	健全性の診断結果	II (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化が考えられる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和4年度～令和8年度				
	内容	塗装塗替え工による補修を行う。				
	実施予定時期	令和7年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
	対策費用(概算)	塗装塗替え工 約1,700千円				
管理方法	長寿化対策として補修工を行うとともに、5年に1回の定期点検を行う。					

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)			0.5				1.7	0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検				補修工	定期点検		

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	A-6-6	林道台帳索引番号番号	4	施設管理者	伊東市
路線名	奥野線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	ユーカリ橋
施設の所在地	伊東市	起点からの距離	4.5km	建設年度	1985年
供用年数	36	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S55	橋格(設計荷重)	2等橋(TL-14)	橋下条件	伊東大川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	16.31m(15.70m)		幅員(車道幅員)	5.70m(4.50m)
	施設の構造等	上部工型式	非合成単純曲線橋			
			鋼製(使用鋼材)	SD30	塗装使用の有無	無
		支承形式	線支承	塗装使用の有無	無	
		橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎
橋脚工型式	-		海岸からの距離	8.1km		
施設の目的 利用実態等	林道奥野線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林施業者により頻繁に利用されている。また、当該林道の一部は奥野ダムの管理道の他、ウォーキング施設としての人気も高く、地域住民の利用もみられる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和3年9月14日				
	調査結果	主桁に腐食が確認された。放置すると腐食が進展することが見込まれる。				
	健全性の 診断結果	II (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	経年劣化が考えられる。				
長寿 命化 計画 の内容	計画期間	令和4年度～令和8年度				
	内容	塗装塗替え工による補修を行う。				
	実施予定時期	令和7年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
	対策費用 (概算)	塗装塗替え工 約1,500千円				
管理 方法	長寿化対策として補修工を行うとともに、5年に1回の定期点検を行う。					

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)			0.5				1.5	0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検				補修工	定期点検		

備考										

※個々の施設毎に作成

別添の別紙(個票)

個別施設整理番号	A-6-6	林道台帳索引番号番号	4	施設管理者	伊東市
路線名	奥野線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	深山橋
施設の所在地	伊東市	起点からの距離	3.0km	建設年度	1961年
供用年数	60	種別	RC橋	型式	RCT桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	伊東大川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.40m		幅員(車道幅員)	4.40m (4.00m)
	施設の構造等	上部工型式	RCT桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	—	塗装使用の有無	無
		支承形式	—	塗装使用の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	—		海岸からの距離	8.2km		
施設の目的 利用実態等	林道奥野線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林施業者により頻繁に利用されている。また、当該林道の一部は奥野ダムの管理道の他、ウォーキング施設としての人気も高く、地域住民の利用もみられる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和3年9月15日				
	調査結果	主桁に鉄筋露出が確認された。放置すると腐食が進展することが見込まれる。				
	健全性の 診断結果	Ⅱ (予防保全段階)	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。			
	劣化原因	中性化が考えられる。				
長寿命化計画の 内容	計画期間	令和4年度～令和8年度				
	内容	断面修復工による補修を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
	対策費用 (概算)	断面修復工 約200千円				
管理 方法	長寿化対策として補修工を行うとともに、5年に1回の定期点検を行う。					

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)			0.5			0.2		0.5		
対策の内容・実施時期			定期点検			補修工		定期点検		

備考										